

尼崎市総合計画審議会専門部会資料
資料 第 4 号 - 1
平成 2 9 年 4 月 2 6 日

尼崎市総合計画市民懇話会提言書・報告書

尼崎市

尼崎市総合計画市民懇話会提言書

後期まちづくり基本計画に記載する「市民・事業者の取り組むこと」について、行政の担当とともに行った前期まちづくり基本計画の振り返りなどを踏まえ、尼崎市総合計画市民懇話会提言書を取りまとめましたので、審議の上後期まちづくり基本計画への反映をお願いいたします。

1. 行政用語は可能な限り避け、市民に分かりやすい文言で記載すること
2. 一文は可能な限り短くすることとし、項目ごとに文量をあわせること
3. 医療関係機関やサービス提供事業者などの、本業に係る記載は削除すること
4. 取組項目については、各施策 5項目以下に統一すること
5. 各取組項目については、報告書（別添）の内容を踏まえ、記載内容の点検をすすめること
6. 記載した取組項目については、その周知に努めること

平成29年 4月

尼崎市総合計画市民懇話会

尼崎市総合計画市民懇話会 報告書

～「市内・事業者が取り組んでいくこと」の評価について～

施策 1 地域コミュニティ

施策 11 地域保健

施策 2 生涯学習

施策 12 消防・防災

施策 3 学校教育

施策 13 生活安全

施策 4 子ども・子育て支援

施策 14 就労支援

施策 5 人権尊重

施策 15 地域経済の活性化

施策 6 地域福祉

施策 16 文化・交流

施策 7 高齢者支援

施策 17 地域の歴史

施策 8 障害者支援

施策 18 環境保全

施策 9 生活支援

施策 19 住環境

施策 10 医療保険・年金

施策 20 都市基盤

施策01 地域コミュニティ

平成29年2月12日(日) 13:00~15:00

於 旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ		個人	地域	評価					
				◎	○	△	×	?	
① 近所づきあいや町会・自治会活動、地域のイベントに主体的に参加し、地域交流の輪を広げます。	市民	○町会の委員会に参加。子供会の企画にも ○自分が参加してみて、地域の方の不参加の多さを感じます ○水辺まつりなどの地域のイベントに参加している △社協に誘われたことがない △社協がわからない △賃貸住宅だからか、近所付き合いは希薄	○NPOとして地域イベントに参加し、交流を図っています ○登下校の見守り隊が色々なところで進んでいる △町会の加入率。イベントへの参加は減少している(増えない)		3	2	1		
	職員	○市内の地区まつりには多くの市民が ○市民体育祭の子どもたちの参加 ○学びの場作りの「サマーセミナー」にも多くの市民が参加 △実施しているイベントは知っているが参加できていない				3			
② 地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の歴史や課題を学ぶとともに、次代を担う子どもたちの地域への愛着をはぐくんでいきます。	市民	○子どもと一緒に地球のイベントなどに参加 ○地域の自治で高齢者と子どもの交流を定期的に行っています ○デイサービスと認可外保育園の運営を行い、日々の交流を図っています	○地域研究史料館の取り組みは面白いと感じる △住民という意識はあるが担い手としての意識は薄い		2	3	1		
	職員	○自分や周りの子どもたちに地域の課題や尼崎の魅力を伝える人が増えた ○保育所行事への参加				3			
③ 地域で活動するさまざまな団体や行政と連携を図りながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。	市民	○尼崎JCのメンバーとして地域課題に取り組んだ ・各団体さんがどんなことをしているか勉強中。つながりを作りたい △個人と団体・行政との連携は難しい	○地域の各団体が連携している事例も多い ○地域課題に取り組んでいる団体は多いと感じる		3	2	1		
	職員		○出前健診の実施 ○NPO団体等による緩やかなつながりが増えている △地域の団体の風通しがあまり良くないのではないか		1	2			
④ 地域の生活・福祉課題に対応するため、多くの人が参画する福祉コミュニティづくりに取り組みます。	市民	△福祉コミュニティの意味が分からない ・まずは自分が参加してみて課題を見つける	○地域に関心のない人が多い			4	1	1	
	職員				1	2			

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の定義は？現在の住民意識に応じて捉える必要が？ ・内容が盛り沢山すぎる。分けるか絞ったほうが分かりやすい ・地域の魅力を学ぶこともあってもよいのでは ・施策6と重複している？ ・福祉コミュニティの意味がわかりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに何を指すどんな団体か発信し合う ・町会、自治会の活動が一部の人のものになっている ・賃貸住宅に住む人のつなぎとめ ・大阪に通勤する世帯への働きかけ ・福祉コミュニティとは、何を指す!? 助け合い?? ・コミュニケーションがコミュニティだとすれば、今の自治会はコミュニティではない ・福祉コミュニティづくりは、市民にはハードルが高い
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとの特性を踏まえた課題設定が必要？ ・周囲への関心の持ち方 ・社協の役割がもっと見やすければ。見える化に！ ・指標の文言が難しい ・「福祉コミュニティ」がここに並ぶのは少し違和感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から地域の事に関する情報の発信共有 ・「シチズンシップ」という文言を入れてもらいたい。②あたりに ・①社協・町会に拘る必要があるのか？

総合評価

よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/24	8/24	11/24	4/24	1/24

施策02 生涯学習

平成29年2月26日(日) 13:00~15:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価					
				◎	○	△	×	?	
①生涯を通じて、自ら学習に取り組み、自己の能力や生活の向上を図ります	市民	○発達障害についての学びと実践 ○ボランティアや社会教育活動を通じて行っている	○時間があれば興味のあるテーマの話を聞くようにしている ・一部(わずか)の人を除いて、ほとんどの人は日々楽しく暮らす		3				
	職員	○まち歩きや歴史に関する勉強をしています ○家で仕事に関する勉強は行っています			3	1			
②学習の成果や習得した知識を地域の中で活かすために、ボランティア活動等を行います	市民	○グループでの立ち上げも行ってきた ○大庄公民館で麻袋で野菜づくりははじめました ○発達障害に関する親の会や相談など	△わずか		3				
	職員	○市民に歴史をわかりやすく伝えるようにしている ○地域に残る古文書の整理をボランティアでやっています(ただし現在は他市です) △ボランティア活動にはなかなか参加できていません(仕事の多忙を一番の理由として...) ・大庄ことはじめ会議に個人として参加中	○古文書の学習会を自ら講師になって公民館で開催		2	2			
③学習活動の活性化に向け、市民学習グループ間で交流や連携に努めます	市民	△グループ間での交流は少ない	△学習グループの高齢化が進んでいる余に思う △聞いたことはない			1	2		
	職員	○市民ボランティア、学校との連携に力を入れている △市民学習グループ間の交流や連携はできていません(尼崎市民、尼崎以外のひとどちらにおいても...)		1			3		
④事業者は、学習やスポーツに関する情報・機会を提供し、キャリア形成を支援するなど、地域活動への参加や社会貢献に努めます	市民		○発達障害に関する会など。パネル展や本づくり、講演活動など		1	1		1	
	職員	○杭瀬小キャリア教育に個人として参加した ・社会貢献でなく、市民に還元したいと思っている	○杭瀬小のキャリア教育授業で、園田の学校と事業者さんが提携してキャリア教育を行った ○キッサニアの取り組み		1	3			
⑤健康を意識しながら、積極的にスポーツ活動に取り組み、生きがい・健康・コミュニケーションづくり等を行います	市民	○健康は大切だと思うが、個人活動の範囲のみ	○母が体操教室に行っている ○定期的にグラウンド・ゴルフやペタンクを楽しんでいる。地域の会館を利用	1	1	1			
	職員	○公私共に余裕があれば、ジョギングなどしています(1年に1回はハーフマラソン出場)	○蓬川沿いの公園でいつも週末少年野球をしているのを見かける		3	1			

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ①『学習』の具体例。例えば「くらしの豆知識」など ・地域の高齢化→健康には関心はあるが、知的欲求は少ないかも ・②③個人の自発性、自然発生性は難しい→リーダーシップ→組織の利用 ・③交流する場はあるのでしょうか ・②ボランティアばかり頼ると、確立化しづらくなると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・知る機会が少ないのでわからない ・学校が地域の拠点 ・まちじゅうキャンパス ・住民プロデューサー ・世代間交流事業をもっと活発にしてほしい ・②に③を包含する。子は町の財産という考え方
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・①『「自己の」能力向上・生活向上』だけは、時代に合わない気がする ・②ボランティア活動等の具体例が見えにくい。この中身をつめた方がよいのでは ・②ボランティアに行政が関わったよいのか ・③市民学習グループ間で交流や連携するためには、お互いのメリットを感じさせることが必要 ・③館の中での交流を考えるきっかけがほしい。公民館グループとか ・活動・学びと地域とをつなぐコーディネーターが必要だと思うが、その要素は入らない? ・④『キャリア形成』のイメージがつきにくい? ・④市民に還元する⇔社会貢献 	

総合評価

よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
1/15	8/15	3/15	2/15	1/15

施策03 学校教育

平成29年2月26日(日) 13:00~15:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①子どもの学習や成長に関心を持ち、職場体験や総合的な学習の時間等に協力するとともに、さまざまな体験をする機会をつくりま	市民	○在勤校ではそのように努力した(総合学習・環境教育) ○子どもの学習や成長は非常に関心がある	○さまざまな努力がなされていると思う(総合学習:地域とのつながり) △中学校のクラブ活動の減少 △トライやるウィーク受け入れが少なくなっている	1	1	3		
	職員	○小学校へ出張授業を行っている ○エーデルワイスの方と小学生に対してスイーツ授業を行っている ○杭瀬小 キャリア教育への取組 △大人が知らない子どもまで情報が届かない(情報発信のあり方)	○小学校の「町たんけん」や中学校の「トライやるウィーク」で機会をつくることのできていたように思う ○杭瀬小 キャリア教育への取組	3	1	2	2	
②子どもが健やかに育つ地域環境を整え、必要に応じた対応を行います	市民	○地域の中で子育てに関する相談機関の充実 △意識があっても個人の取り組みは難しい △習っていない漢字を使えない、使ってはならない	○子ども会の活動が活発 ○『てらこや』活動をしている地域がある △各小学校区に地域の人が見守る場が欲しい・よく整っているとは言えないが、さまざまな工夫がなされている			5		
	職員		○地域活動コーディネーター			6	1	1
③子どもとのコミュニケーションを深め、子どもに基本的な食生活・生活習慣が身に付くように努めます	市民	○身近なところで努力している・過去形	△家庭によっては食生活が不安定 △中学弁当の利用者が少ないと聞きます △自校方式の中学校給食ができるといいと思う ・基本的には家庭の責任か		2		3	
	職員		△食生活・生活習慣の定着への関わりの難しさ		1	3	1	3
④安全・安心な地域の中で、子どもが成長していけるように、防犯や交通安全に向けた見守り活動等を実施します	市民	○当番制、フラッグ ○夜のウォーキング時には、若い人の行動に気をつける	○よく実施されている ○町会による夜回り ○おはよう運動(学校門で) ○地区でパトロールカーを購入し活動している	2	3			
	職員	○通勤時、子どもたちを見守る大人たちを毎日見かける	○小学生の登校時の交通安全の見守りや、公園の整備を進めてくれたと思う ○子どもの自転車運転を大人が注意 ○見守りで校区内や学校の校門に立っている方をよく見かける ・見守り活動には地域差があるように感じます	2	6			
⑤子どもを対象とした地域の行事や活動を行うとともに、PTA活動や学校行事に参加するなど、地域全体で子どもと積極的にかかわりを持ちます	市民	○行事に参加するよう努めている	○子どものためのお祭りや餅つき開催、卒業式や入学式の来賓が多い ○子ども会と学校とのつながりが豊か △学校によって差があるように思う		3	2		
	職員	○ボーイスカウト活動をしています ○調整できるときは、学校行事に参加するようにしている。4回に1回ぐらい? ○地域運動会、夏祭り等の取組 △子どもがいないと関わる機会がなかなかもない(現役世代や独身者など) △個人として学校に入ることがない。世代的にも △近所に住んでいる方々の名前を全然知らず、とても積極的にかかわりを持っているとは言えません	△子ども会をあまり見なくなった		3	1	2	2

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・①協力者が少ない ・①②③④子ども食堂等の推進、整備 ・子どものいない家庭への情報不足 ・現状を知る ・②学校を開放するなど、家庭学習ができない状況を改善する方策を考える ・②③子どものいない家庭の方は具体的にどう関わっていいのか、わからない。一地域の人としてできることを挙げてほしい ・③家庭に入っていく難しさ ・⑤場所によって差が大きい ・⑤小学校区での自治会（社協）作りが必要。できているところもあるが 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものお手本となるような大人になる ・町会と子ども会の活性化 ・②と③を一つに考える。町全体で子どもと付き合う
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・①地域のことを、歴史をきっかけに知ってほしい ・①情報発信が難しい？マッチングができていない気がします ・①最近よくある部活動の指導もここに入るのでしょいか？ ・②「必要に応じた対応」の具体例がないとわかりにくいと思います ・②「健やかに育つ地域環境」の定義があいまいな気がします ・③学校教育でするのは難しい？親子の依存が強い気がする ・③「子どもに基本的な食生活・生活習慣」が身に付くようにするのは、学校教育ではなく家庭教育では？ ・③家庭に子どもがいるとしないとでできることと関わりが難しいことがある ・③子どもと地域、地域と学校などワンクッション置いた関わりじゃなければ個人での活動は難しい ・④「見守り活動」は学校教育？社会教育では？ ・④社協の方や学校サポーターなどの仕組みができて、参加しやすくなっているのではないか？ ・⑤人間関係が希薄になっているので、必要だが取り組むことが難しいのでは？ ・⑤子供会の項目を追加 ・⑤『地域』の中のイメージに独身者や現役でも子どもがいない世帯は入っていない気がします ・⑤イベント集客型の行事はあっても、課題解決型はあまりない。子どもによる、子どものための未来をサポートできたら ・地域による温度差→交流などして少しでも減らしていければ 	<ul style="list-style-type: none"> ・①職場体験に賃金の観点を導入 ・②但し勉強好きな子どもは周りの学力に合わせるように ・②③長所は伸ばし短所は補う

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
3/25	9/25	10/25	3/25	0/25

施策04 子ども・子育て支援

平成29年2月25日(土) 10:00~12:00

於 旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ	個人	地域	評価					
			◎	○	△	×	?	
①保護者として、子育てについて自ら学び、子どもを育てる力を高めるとともに、子どもと向きあい、子どもが心身ともに安らぐような家庭づくりに努めます	市民	○孫と楽しく遊んでいる ○公立幼稚園など毎日親同士が顔を合わせることがよりできた ○日常のあいさつをしっかりする △子育て世代の親は仕事で忙しく、じっくり向き合うのが難しい	○学校等のイベントには積極的に参加、PTA活動にも参加、PTA 企画の研修等にも参加してきた △家庭づくりができているところとそうでないところの格差が広がっているのでは		3	2		
	職員	○子どもの悩みや相談を聞く努力を行った ○育休制度を学ぶことで子育てのあり方に興味を持つことができた	○子育てサークルの活動、交流		4	1	1	2
②地域で子どもが安心して暮らせる環境をつくとともに、保護者の不安軽減等に向けて、子育てについての助言等を行うほか、交流の機会づくりに努めます	市民	○子ども食堂に参加している	○社協の方々や老人会の方々とコミュニケーションを取り、子どもの健全育成、見守りを図った △やっている人はいるが少数 △中間的プレイヤー不足 △交流の機会づくり、集まる時間、場所が決めにくい→集まってほしい人が集まって(参加して)いない? △子育てサークルやつどいの広場は増えたが、地域の子ども会活動は減少したように思う		4	1		
	職員	○学校行事や地域イベントなどPTAを通じて参加し、子どもが安全安心して過ごせるように取り組んだ ○近くの学校に通う生徒たちに積極的にあいさつすることに取り組んだ ○学校の行事、PTA などを通じて、いろいろな情報交換をしている	○地域ボランティア?の人による小学生登校時見守り ○子ども食堂の開設 ○子ども食堂(特に園田) ○保護者の方が集まって子育てについて話している場面を見た		7			1
③保育所や子育て支援関連の施設では、多様な保育サービスや子育て支援サービス等の提供に努めます	市民	○子育てサロン等支援広場は増えていると思う ○子育てサークルやつどいの広場への参加を誘っています	○直接的に知っているわけではないが、さまざまな取組があるように感じる ○子育てサロン、子育て支援広場で童謡など「歌う会」を担当 ○子育てサークルが増えている(全体) △提供していることを知らない		2	3		
	職員				3	5		
④事業者は、従業員が家庭で子どもとのかかわりを深められるよう配慮に努め、また、子ども・子育て支援に取り組む地域活動への協力に努めます	市民		○事業者としてPTA 活動等の参加を促しています ・事業者ではないので答えられない					5
	職員					2	3	3
⑤近所の子どもへの声掛け等を通じて、子どもに積極的にかかわります	市民	○自治会長になってからできるようになった ○子どもたちへの日常のあいさつを行う ○登下校時、「おはよう」「おかえり」と声かけしている ○朝、あいさつするようにしている	○見守り隊が登下校時に各所で頑張っている ○登下校時の見守り活動を行っている △やっている人はいるが限定的 △近所に子どもが少ないこともあるが、なかなか接する機会が作れない		1	3	1	
	職員	○登校している子どもへの手助け ○あいさつのできている校区内の他の子どもを気にするけれどなかなか声かけできない △通勤時、家の近所の子どもたちにあいさつできていない	○朝の通学時に街頭ボランティアと思われる方がいらっしゃって、子どもに声かけをしている ○子どもの通学時に交通安全の啓発を行っている ○通学時の子どもに声かけする姿をよく見かける		2	5	1	
⑥大人として子どもの人格を尊重し、成長に応じた思い・考えを聴くとともに、豊かな人間性、社会性等がはぐくまれるように、成長を支えます	市民	○一人の人間『小さな大人』として対等に付き合うように	○抽象的で答えるのが難しい、私個人としては努力しているつもり		2	1	1	1
	職員	・共働きなどで忙しい家庭が多いので、子どもの考え等をじっくり聴く時間がはたしてあるのか?	○子どもの声を聴いて、大人に何ができるかを考えるワークショップの開催		1	3		4

⑦地域全体で非行化を防止するための社会生活上の環境整備に努めます	市民	○サークルを作り、子どもに活躍させることで健全育成に役立っている	○全体に若者の非行が少なくなったように感じる（コンビニでのたむろなど） ○学校門の前で保護者、教師、地域で毎朝「おはよう運動」を行っている △具体的な活動はできていない ・防犯、補導という観点からは根本的な解決にはならない	2	3		
	職員	△路上でたむろする若年層を見かけても、見て見ぬふりをしてしまう	○夜間パトロール ○警察と連携した地域の見守りを行っている ・夜間などに出歩いている子どもたちに対して、だんだんと声をかけづらい社会になってきているのではないかと（普段から交流があればともかく…）	2	6		

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・①②家庭と地域をつなぐ具体的な方法は？ ・②安心して暮らせる環境とは？ ・④個人又は事業者は、変更しては？ ・④地域の中で事業所の存在は重要。連携の必要という意味では知る必要がある ・④事業者にも質問し、回答してもらいたい（他の項目も） ・⑤防犯から見ると声はかけにくい、具体的な場面設定を ・⑤設問に答えにくい。個人の努力？全体としての努力目標 ・⑤⑥内容整理して表現した方がよいと思う ・⑥は幅が広すぎて具体的にイメージしにくい ・⑥の視点を最重要視すべき ・子どもを通じて親の学び ・子どもから学ぶ ・言葉が難しいので、親がすぐに理解できる文言にする ・不安軽減とは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと向きあいたいと考えていても、経済的、時間的に余裕がなくできていない人もいる ・子育てに対して『しんどい』人が『しんどい』と言えることが必要 ・ナナメの関係づくり ・この施策を全体のなかで最重要視すべき ・IT化スマホ対応 ・各学校での家庭や地域との結びつきについての努力工夫の数などを評価基準に ・若者への質問も必要ではないか(将来の市民として) ・既存の教育システムのイノベーション ・幼稚園も③に入れてほしい
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・②③⑤⑦6 地区ごとの視点が必要 ・④事業者の取組がわかりづらい（いいことをしているのかもしれませんが） ・⑥の文言は哲学的な印象を受けたので、具体的な行動や活動はイメージしにくい ・⑥は個人としてできていないと書きづらい ・⑦社会生活上の環境整備とは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・⑤子どもたちへの継続的な関わりはより必要になると思います ・子育てにおける事業者への理解を深める活動は今の時代には大事だと思う・スマホの使い方、メディアリテラシー ・LINEなどSNSとの付き合い方等も踏まえて ・取り組んでいる人は取り組んでいる→どうやって関心を高めていくか ・実施されているサービスや取組を市民からも発信できないか

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
1/35	16/35	11/35	1/35	6/35

施策05 人権尊重

平成29年2月25日(土) 10:00~12:00

於 旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①人権問題や多文化共生社会の実現、男女共同参画を自分自身の課題として受け止め、市民一人ひとりの人権と個性を尊重し、学習会や活動に自発的に参加・協力します	市民	○LGBTに関する勉強会に参加した ○知人の子どもの例で身近な問題として感じた ○ボランティア活動を通して実践	△ほとんどの人に関心がないように思う △閉鎖的かもしれない ・各公民館、センターなどが行事を活発に実施している(市民がどれくらい参加しているかは少し疑問であるが)		3	1		1
	職員	○LGBTに関するテレビ番組を見る機会があった。子どもとも話しています △自分自身の課題があると認識しつつも、特に何もしていない、行動に移せていない △マイノリティへの対応 △つい無関係だと思いがち(自分自身の課題として捉えていない)	○LGBTや性的マイノリティに関する講座が増えた ○人権啓発推進員の育成に取り組んだ ○インターネットモニタリング事業の取組 ○平和の祭典を通し、平和の尊さや大切さを伝える取組 ・外国人市民のための生活ガイド、あまがさきスタートガイドの周知		3	5		
②地域活動への協力や積極的な参加を通じて、地域に根差した人権問題解決や男女共同参画社会づくりのための意見やアイデアを市に提言します	市民	○自治会長として地区社協に参加し、その仕組を勉強中 △提言しやすい仕組みがないように思う ・地域活動には参加するもののアイデアは出せていない	○地域はとても仲がよく、男女関係なく協力しあっている(と思う) △あまりにも少数 ・地域と市役所のセクションとのつなぎ役は結局民生委員や補導委員? ・第3次男女共同参画計画へのパブコメ 6人75件		1	2	2	
	職員					5	3	
③日本人も外国人も、同じ地域社会を築く一員として、お互いに認めあい、理解を深めるとともに、世界平和を願い尊ぶ意識を醸成します	市民	○地域においてさまざまな国の方が生活することで特別なことでなくなっている ○多様な国の人との関わりを持つようにしている ○多文化共生を目指している △わざわざ交流する場が少ないように思う	○尼崎には多くの外国からの人々が入ってきている。そういう意味で多文化共生のまちである(排他的ではない) △あまりにも少数 △視野が狭いかも △すぐに世界の平和まで結びつけることができるのか?		1	4		
	職員	○個人的には外国人との交流はあるため、相互理解ができていると思う	△政治的な局面としては、外国人との共存理解は薄まっていると思うが △未だに外国籍の人を奇異な目で見ることが多い		1	3	1	3
④男女が家庭や社会における役割を平等に果たし、また、男女がともに働きやすい環境をつくりまします	市民	○家事を妻と分担し、そのスキルアップに日々努めている ○男女問わず、社会の一員として貢献するという意識はある △働きやすい環境だけでなく、休みのとりやすい環境も必要と思う	△会社中心の意識が強い(男) ・昔に比べ、女性が働きやすい社会になったが、現時点ではまだまだ不満		2	3		
	職員		○これからの時代は必須!家事協力してくれる方がよいです △男性の育休取得の難しさ △働きやすさにおける男女間の差はまだまだあると思う			2	6	
⑤事業者等においては、安全で働きやすい職場づくりを徹底し、仕事と生活の調和を推進していくとともに、従業員に対して人権教育を行うなど、ハラスメントの防止をはじめとする人権に配慮した行動を行います	市民	○過労死の問題について考えている ○働きやすい環境づくりに努力している △会社では人権教育はあまりされていないように思う	△とはいっても、株式会社の根本が拡大生産なので… ・事業者への質問?答えにくい			2	1	2
	職員	△職場内ではセクハラ、パワハラなどに配慮した行動を一人ひとりがするように意識づけています	△自殺などのニュースを見ると、まだまだ企業の中には働きやすい職場づくりができていないと思う時がある △民間企業、行政も成果、コスト削減を求められている時代にワークライフバランスを推進していくことは難しい △ワークライフバランスの実現が難しい職種もあるのでは?		2	1	3	2

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・一人の個を認める、守る表現がない ・人権問題とは？ ・意見やアイデアを市に提言するにはどうしたらいいのか？ ・窓口対応とかまだまだ課題があるのでは？ ・マイノリティーに対する意識強化 ・②人権問題の取組（インターネットの書き込み削除）うまくPRしてほしい ・③マイノリティーも交わりやすい地域づくり ・③外国人との共生について、世界平和と直接結びつけるのは難しいのでは（理想としてはよいが） ・文言というより、イラスト等ふんだんに使ってほしい ・学校、PTAの人権教育活動をもっと活発にする 	<ul style="list-style-type: none"> ・差があつて当たり前という視点を持って認め合う ・『みんな違って当たり前』と受け入れる社会が必要 ・特定の組織や立場の人に特化している、もっと一般論にしたい ・知らせる方策 ・市-社協のルートとは違う ・中間的プレーヤー養成 ・社協の取組とコラボさせる ・最々上位に置くべき施策である ・少数派、弱者の気持ちを理解する ・弱者の立場の認識を促す ・地域の子育て支援への補助を活発的に
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・③外国人との交流の機会を増やすことも取組目標に認識すればいいと思う ・④「男女」という言葉は省いてもよいのでは ・外国人観光客が増えているため、多言語に対応できる取組やインバウンドに向けた取組ができたらいいなと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女に関わらず、人としての生き方に選択肢が多い方がよいと思う ・LGBTや外国人だけではない！他にもマイノリティはいらっしゃるでしょう ・ネット社会の多様化の対応 ・身近にいないと理解しづらい

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/25	7/25	12/25	3/25	3/25

施策06 地域福祉

平成29年2月26日(日) 10:00~12:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
① 域での活動を通じて、住民同士お互い顔の見える関係を築きます	市民	○高校生のゴミ拾いイベント手伝い ・商店街での活動はできている	○商店街内ではイベント等を通じ顔の見える関係ができている			2		
	職員	○地域活動に参加することで顔の見える関係が 出来ている △同じマンションに住んでいる人の顔を知らない △日中仕事をしているので、地域のボランティア活動には参加できていません △マンションの行事には防災訓練くらいしか参加できなかった	○地域のイベントにはそこそこ参加する人が多い △地域によってかなり差があるように思える			4		
②地域での活動を通じて、理解者を増やし、活動に参加する人が増えるように努めます	市民	△自治会(社協?)には、入っていない。勧誘がない	○園田地域の平和を考える会に参加			1	1	
	職員	△新しい参加者にどのように声をかけていいかわからない	△同じメンバーが固定化して、新しい参加者が増えていない			4		
③自分たちの地域活動だけでなく、他の活動にも目を向けることで、連携等ができるようにします	市民	○市民ふくしのつどい。提案型事業受託	○園田は子ども食堂、組合員活動、コープ、PTA、社協入りまじっている △大きく言って、世代間の交流ができなかった △話し合いやWSがまとまらないことがあった			2		
	職員	△自分たちの活動で精一杯で、他まで目を向ける余裕がない	△他の活動とのつながりが薄い、できていない			4		
④身近な地域の小地域福祉活動を広げられるよう地域が一体となり、取り組みます	市民	○公民館活用しました。イベントなど △社協、町会に入る人をふやせなかった	○まちづくり協議会で消防訓練や自転車の安全な乗り方等啓蒙活動をしている			2		
	職員		○子ども食堂が全国的に増えている ・自治会が中心となっているため、加入率によって差がある			2	2	
⑤生活・福祉課題を身近な生活の中で共有できるように努めます	市民	○となりのとなりのおぎ山さんに声かけ ○町内会入りました	○半径2キロ圏内のつながり増という目標			1	1	
	職員					1	3	
⑥身近な地域で要援護者を発見し、専門機関等につなぐことに努めます	市民					1	1	
	職員	△町内の会に入っていない。そもそもあるかわかっていない…	○市、地域包括支援センターの介護予防サロン等を通して、住民相互の繋がりができている			4		
⑦事業者は、利用者のためのサービスの質の確保・向上に努めます	市民	○畑開墾、喫茶店ごっこなどおせっかいしました				1	1	
	職員					3	1	

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関につながるは専門機関という傾向 ・⑦は、サービス提供以外の意識を問うてほしい ・①~⑤まで同じ事を言っているような気がする ・地域福祉の項目自体が要らないのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂などは多世代交流になりえる ・世代間の交流がもっとあれば ・社協・自治会の長の高齢化、なり手がいない。市が支援する(人材) ・話し合い合意形成のスキル、システム向上など ・市側…どうしたら自治会に入ってくれるの？ ・市民側…どうしたら自治会に入れるの？ ・小地域福祉活動とは何を指す？ ・生活圏域とは何を指す？ ・要保護者がどこにいる？ ・地域の人と情報の共有は出来ている？
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・③抽象的なので、具体的に書く必要がある ・④小地域福祉という言葉はわかりづらい ・④「小地域福祉活動」市民の方はピンとくるのだろうか？ ・⑥専門機関等→市民の方にとってはイメージができないのでは？ ・⑦事業者は～については、法令で定められているためいらぬ。地域での活動について書くべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目3つくらいにしぼった方が頭に入りやすそう ・学術的にはこれで良いけど、対外的にはもう少しわかり易い表現が良い ・福祉というテーマが地域では重い ・そもそも地域福祉に興味がない。わからなくても困らない

総合評価

よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/14	2/14	10/14	2/14	0/14

施策07 高齢者支援

平成29年2月26日(日) 10:00~12:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①若い頃から自分の健康を意識し、健康づくりに取り組みます	市民	○年をとってから健康を意識するようになった ○週1回テニスしています ○毎年健診をうけています ○どう年をとるか?を考える機会増 △テニスサークルに若い人が少ない			1	2		
	職員	○取り組んでいる △取り組んでいない △まだまだ先すぎて、健康づくりを意識できてない		1	3	1		
②援護を必要とする近隣高齢者などに思いやりを持って接し、声掛けをはじめ、地域で見守ることのできる体制を構築するとともに、高齢者の地域参加を支援します	市民	○韓国語の先生のお母さんにスタッフ派遣 △援護が必要か分からない	○三和本通いきいき100歳体操 ・商店街では可能。そのようなまちぐるみで努力すべき ・地域によって異なる		2	1		
	職員	○すぐ近所には回覧板時に声掛けしている △していない。働いているので、日中地域にいないため			3	2		
③事業者は、高齢者のニーズにあった支援サービスを提供します	市民	○被後見人とランチをしています ○あいあいの家に利用者さんのお父さんをつなげました ・成年後見人としてサービス提供しているが... △事業者がリスクに過敏になっている?	△商店街にベンチ等休憩場所があればいい			3		
	職員		△高齢者のニーズは専門的サービス以外にもあるが、そこまでできていない			5		
④事業者は、安全性、利便性を意識し、段差の解消や手すりの取付け等に取り組みます	市民					2		1
	職員	○取り組んでいる	・尼崎市のバリアフリーは他市と比べて進んでいるのだろうか?			5		
⑤高齢期になってからも地域・社会との関わりを積極的に持ち続けます	市民			1		2		
	職員	○現在の町内会の活動を続けていく予定 △十分でない △働かないといけない高齢者が多く、できない △デイサービス、通所等に行くと、身近な地域のことわからない ・わからない	○地域社会と関われる場がたくさんあります			4	1	
⑥事業者は、高齢者に向けた情報や催し、また世代間交流や高齢者の保つ技術が活かされるような機会を増やします	市民	○園田苑、きらく園と連携(おふるで) ○みんなで銭湯に行こうというイベントやっています			2	1		
	職員	○つい最近、小学生~高齢者の世代間交流に参加した	○施設の地域開放、バザーなどのイベントでみんなが集まっている	1	3	1		

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者もさまざま。一括りにするのは?? ・事業者がニーズにあったサービスをするのは当然 ・皆が健康で医療を使わなければ国民健康保険は安くなる、とはっきり言う ・お金や時間がない人でも取り組める事を例示する ・元気な高齢者の当用 ・マナーの悪い人もいるので、高齢者を教育する ・高齢者の持つ技術力を知りたい ・事業者と市民の関わり方が大切 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者や専門機関内で完結している印象 ・男性でも来やすい場づくり ・専門機関がリーチできない人、地域参加してない人にどうアプローチするか ・元気な高齢者は積極的にまちに出よう ・商店街で「見守る」意識を持つ ・「事業者」がどのような事業者をイメージしているのかわからない ・「事業者は」とつくと、市民から意見出にくい ・「単身高齢者」と表記してみたら ・事業者を選ぶ情報
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・①「若い」に限定する必要はない ・②「思いやりを持って」「声かけ」何をしたらいいのかわからない ・②と⑤は何をすればいいかわかりづらい ・④は高齢者だけでなくすべての市民に当てはまる ・④市はお金がなくて、あまりすすめられていない ・⑤高齢者だけでなく市民全般に言えること ・高齢者・高齢期：介護する人・介護される人など一括りにすること出来ないのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・尼崎は独居高齢者が多い。独居高齢者を気にかけることにふれたい ・市・事業者の順番をそろえたい ・圧縮したら一つになりそう ・⑥すごく良いと思います(高齢者になってもいきいき活躍していただくことが大切)

総合評価

よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
1/18	5/18	11/18	0/18	1/18

施策08 障害者支援

平成29年2月26日(日) 10:00~12:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価					
				◎	○	△	×	?	
①障害のある人・子どもに対する理解を深めます	市民	○手助けの必要な人に手助けできるよう心がけています ○子ども(4才と2才)にはまだ障害をうまく説明できていない			1	1	1		
	職員	○業務上関わりが多いので、一定の配慮は出来ている	△高齢者中心で特に精神障害者への理解が進んでいる △地域の中で、障害のある子どもと接する機会が少ない			3	1	1	
②地域でのイベント等を通じて普段から障害のある人・子どもと交流を深めます	市民	○地域のお祭りでダンスを踊っているのをよく見かける ○モデル×スタイリスト ファッションショーしました ○お風呂イベントやっています ・市民ふくしのつどい提案型事業受託 ・アート作品発表会:2ヶ月に1回			1	2			
	職員	○福祉のつどい、スポーツ大会等のイベントを通して、交流の機会を設けている ○福祉のつどいを通して交流した ○「尼うえるフェア」に参加した △障害のある人を見かけても、どう声をかけていいのかわからないので、何もできない	△施設はバリアフリーになっても、イベントはそうではない。来る人の意識?		3	2			
③障害のある人の地域での生活を見守り、ともに生活できるように必要に応じて支援します	市民		・商店街では、陳列のはみだしや駐輪(じゃまになる)をなくし、車椅子でも通行しやすく			2	1		
	職員	△市民にできることが何かわからないため、できない	△個々の障害に応じて特性があるが、全てを見守ろうとしても難しい △見えにくい障害がある場合、支援できない			5			
④事業者は、日常生活を支える障害福祉サービス等を提供します	市民	○個別総合支援計画をつくっています ○他事業所と連携のため、ファシリテーション技術向上研修 △成年後見というと費用の負担が課題			1	1		1	
	職員		○多くの事業所があるので障害福祉サービスの提供ができた		1	2	1	1	
⑤事業者は、障害のある人の雇用に取り組み、働きやすい環境づくりを行います。	市民	○チャリティーショップ計画中				1		2	
	職員	○市役所など障害のある人の雇用に取り組んでいる △コンプライアンス、社会責任の域を脱していない	○事業者の障害者に対する理解は深まっている		2	1	1	1	
⑥相談支援事業者は、障害の特性やその人のニーズに応じた支援が受けられるようにします	市民	△福祉が充実しているとの理由で西宮へ引っ越した人が2人 △特製やニーズの把握がイマイチ					2	1	
	職員	△障害の特性やニーズは様々で、必要な支援が異なるので難しい	△社会資源が十分でないため、まだ道半ば △相談支援の達成率はなかなか上がっていない			5			

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ①何をすれば達成したことに成るのかわからない 「障害者」というくりに囚われすぎない思考 ⑤は市民に荷が重いのでは ④は専門事業者を対象とするなら、当たり前のことではないか 相談支援の充実、市と事業者の話し合いがある 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子でも単身でバスに乗れるのはスゴイ! 体の不自由な人には助けをしようという小さいときからのしつけ 『障害者への理解を深める』というのは、人を分けている感じがする 主語が『事業者』なら事業者に聞いてほしい 子ども達とのコラボで良い礼儀を
職員	<ul style="list-style-type: none"> 障害のある人に対して市民の方の意識を向けること ①②理解を深める為に交流するので、一緒にしてしまっではどうでしょうか 実際に障害のある人の声が聞けていないので、全体的に「わからない」ことが多かったです(感想) ①③具体的な取り組みを書いてほしい 「見守り方」がわからない。「見守る」という言葉が適切かどうかわからない ①③「障害をハンデに感じないように」「障害者に対する偏見がなくなるよう」といった意識の部分連記 ③見守りを希望する人だけにしてはどうか 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・④は当たり前なことなので、地域貢献に取り組むよう記載してほしい ・雇用形態を出来る限り正規化・常用化してもらいたい ・相談支援事業者の数は徐々に増えているが、利用者の認知度が低い ・⑥相談支援事業者限定だと、そこだけ負担が増えそう。事業者全体の取組 ・⑥相談支援事業者に限定しなくても、すべてのサービス提供者の取組みでは 	
--	---	--

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/18	3/18	7/18	4/18	4/18

施策09 生活支援

平成29年2月26日(日) 10:00~12:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①児童虐待について正しい知識を持ち、誰もが発見者となりうることを意識するとともに、児童虐待と疑われる事例を発見した場合には通報します	市民	・します!だがまず、どこへ? △ネグレクト等はなかなか発見しづらい気がする	△虐待があっても、「しつけ」と思って通報に至らないケースもあるのではないか △虐待の線引きがわからない				3	
	職員	△大きい音が出ているだけなのか、虐待なのかわからない △実際に子どもの泣き声などを聞いても、「またか…」と思い、通報する勇気がない				1	4	
②子どもの健やかな育ちや安全への配慮のため、地域での見守りに努めます	市民	○子どもとカレーの会「キッサニア」開催	△地域での関わりはどこまで入り込んでいいのかわからないので、できていない			1	2	
	職員	○休日の朝に地域での野球チームとかを見かけるので、地域として見守りができている △プライバシーの観点から家庭内まで見守るのは困難			4	1		
③児童虐待防止に関する啓発事業に積極的に参加し、児童虐待の早期発見に努めます	市民		△大切なことですが、テーマが重たく、なかなか積極的に参加できない				3	
	職員					5		
④生活に課題を抱える人の自立に向けて、ともに考えていくという視点を持ちます	市民	○子ども食堂ボランティア行っています △自分の生活で精一杯	△こうした視点を持ちたいと思っていますが、実際何もできていません			1	2	
	職員	△誰と誰がともに考えているのかわからない ・「ともに」考えてほしくないという声もある			5			
⑤事業者は、生活保護受給者の自立に向けた就労体験等の取り組みに協力します	市民		△生活保護受給者にも「自分も社会の役に立っている」と思ってもらえる仕組みづくり △生活保護に対する偏見が根強い。「仕事をしない人」など △就労会誌件数が目標に達していないので協力ができていない △受給者が働く、働かないを決めるので、あくまで協力しかできない △受給者のニーズが多岐にわたるため、支援が難しい ・しごとくらしサポートセンターが頑張っているのでもいいではないでしょうか			1	1	1
	職員	△生活保護者への偏見があるような気がする ので、実際に就労体験など協力してくれるところ少ない			1		4	

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・①「疑われる」事例では通報できない……※ ・③はどう動機づけしてよいのかわからない…※ ・正しい知識って何?……※ ・経済的虐待の視点……※ ・④「課題」が多義的すぎる ・⑤生活保護受給者という区分けだけでなく、そうなった原因も区分すべき ・<※まとめて>生活支援というより、「子どもの育ち支援」よりの政策かも… ・世代交流事業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティーネットに市民がどう関わるかわかりにくい ・働けるのにあえて働かない受給者を減らす ・地域交流の活性化
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・①②判断難しい……※ ・<※まとめて>生活支援というより、「子どもの育ち支援」よりの政策かも… ・①③まとめられそう。「児童虐待と疑われる～通報します」が大切ですね ・虐待とはどのような状況か明確にすべき ・虐待が疑われる場合は何かしら行動すること ・①しつけと虐待の区別が外からはわからないので、「疑われる事例」がよくわかりません ・④具体的に何をするのかわからない ・⑤「生活保護受給者」→「自立支援・就労支援が必要な人」 ・⑤「就労体験」で何をさせればよいかわからない ・⑤生活保護受給者とは書かないでほしい ・⑤生活保護受給者とわかって受け入れる又は、生活保護受給者と教えるケースはない 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童だけでなく、高齢者、障害者などみんなの虐待防止にしてほしい ・地域での見守りができるように、まずは地域間での関係づくりが必要だと思う ・シングルマザーが増えている気がする。子育てで就労できず生活保護受給のまま自立できないケースも少なくないと思うので、自立と子育てのどちらの支援も必要だ

総合評価

よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/15	0/15	3/15	11/15	1/15

施策10 医療保険・年金

平成29年2月12日(日) 13:00~15:00

於旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①市民、事業者、医療機関は、医療保険制度の適切かつ継続的な運営に向けて、それぞれができることに取り組み、協力しあいます	市民	○協力 ○かかりつけ医に相談しています(とりあえず)	○協力している △医療行為が適切か判断してもらえる機関	2	1			3
	職員		○重症化予防への意識が高まっている		2			
②医療保険制度や国民年金制度の趣旨を理解し、制度の適正な利用や保険料の納付に努めます	市民	○納付している ○自動振替です ○納付しています ○納付している ○保険料納めています △国民年金制度への加入の促しをもう少し強くした方がよい		3	1	1	1	
	職員		○保険料を納めている ○重複受診はしない	2				
③事業者や医療機関は、連携しあいながら、生活習慣予防をめざす市民をサポートする環境づくりに取り組みます	市民	○大規模な病院が多いと感じる ○健診のお知らせはよく見ます △大規模な病院の立地は案外不便	○している △土日開いている近所の医療機関があるとよい	1	2	3		
	職員		△病院に通っているの、健診を受けないという方がいる △連協や各団体が主催して出前健診を実施している		2			
④生活習慣病予防のための健診や保健指導を活用し、「尼崎市生活習慣病予防ガイドライン」の健康指標の達成をめざし、自らの健康の維持、増進に努めます	市民	○できています ○毎週テニスしています △予防ガイドラインを知らなかった	○商店街で百歳体操	1	1		2	2
	職員	○煙草を吸いません	○必要な健診及び精検を受けている △健康に関する課題の共有化ができていない		1	1		

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・(施策11) 地域保健との違いや棲み分けが難しい ・経費削減したいとの意図が伺える ・もっとシンプルな取組にする ・①表現がわかりにくい。「できること」とは? ・①は何を聞きたいのかわからない ・②メリット(=必要性)のアピールを! ・③④は施策11番に含めていいのでは? ・施策10事態が必要か?11に統合でもいいのでは? ・④は施策11に含まれるのではないか? ・④は「~の達成をめざし」で健康に努めている人はいないのでは ・制度の解りにくさがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体ポイント、もっと宣伝を。商店街ぐるみ ・医療機関にもっと協力してもらう ・地域で受給率を考える ・やってもらっている感が強く、市民ができることが思いつかない ・若年層へのアピール?アプローチ?? ・適正な医療受診の仕方を具体的に示す(広報) ・受診する方のマナーが悪い ・年金世代の活性化 ・市民ができることが、たいして思いつかない ・お金以外の価値創造
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれができることを明示してほしい ・医療保険制度と国民年金制度を分けて考える 	

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
7/24	5/24	4/24	3/24	5/24

施策 1 1 地域保健	平成 29 年 2 月 12 日（日）13：00～15：00	於旧聖トマス大学（学生会館）
--------------------	--------------------------------	----------------

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	？
①健康づくり、出産・育児、感染症等について正しく理解し、各種検診（健診）や予防接種を受けるようにします	市民	○検診、予防接種を受けています ○健診・予防接種を受けています ○している ○0歳で日本脳炎予防接種を受けました ○インフルエンザ、肺炎の予防接種を受けています △健診になかなか行っていない、子ども優先	△予防接種の費用は安い方がよい	3	3			
	職員	○予防接種を受けています（子どもも） ○職場での健診、予防接種			1	2		
②出産・育児等に関する情報を地域で共有し、関係機関と連携しながら、地域の子育て力の向上に努めます	市民	○あまぴっと、園田のわらべ、よく行きます ○ママの友だちが増えました、パパも △地域感はない △プライバシーとの兼ね合い	○つどいの広場など、育児サポートは多い ○商店街に授乳室を作った △情報共有・発信が弱い、情報格差がある		4	1		1
	職員	○子育てサークルなどの場での健康教育			1	1		1
③市民一人ひとりが「自らの健康は自らが守る」という自覚を持って、食生活の改善や運動の実践に取り組むなど主体的に心と体の健康づくりをします	市民	○している ○休みをしっかりと取っています ○福祉はメンタルヘルスが上下しやすいので、皆で話す場を定期的にかけています ○できているつもり、仲間がいるとよい △平日はほぼ外食	○子育て支援関係の講座、イベントは多い		3	3		
	職員	○食生活（野菜の摂取）に取り組んでいる	○身体は動かしている、会話は特に気を付けていない		3			
④地域住民が主体となり、その地域で取り組んでいる健康づくり活動等の推進に努めます	市民	△地域では不明	△健康づくり活動とはどんなものか？よくわからない、知らない △地域でやればよい、料理教室、体操			1	2	3
	職員	△単身のマンションでは難しいところもある				1	2	
⑤医療関係機関は、医療サービスの質の維持・向上等に努めるとともに、疾病の早期治療に努めます	市民	○そうあってほしい	△医療機関の通信簿			1		5
	職員					2		1
⑥「食」への関心を深め、身近なところから衛生状態に気を配り、生活衛生環境の向上に努めます	市民	○「よつ葉」で食材を買っています！高いけど ○努めている ○うがい、手洗いしています ○やっています	○子育て世代は「食」への関心は特に高い！ △意識は低いと思う		5	1		
	職員	○台所用品の消毒を行い、調理方法も気を付けています ○食材を子どもに見せる	△健康のための「食」という意識付けはまだ浸透していないように思われる		1	2		

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民」と「事業者」は分けるべき ・②地域で共有への違和感 ・③⑥の表現の整理 ・食、運動、健診、衛生などテーマを整理してほしい ・④がよくわからない ・⑤は局所的すぎる ・「心と体の」健康づくりとなると、幅が広くて考えにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育への取り組みを！ ・心の健康の表記がない（ストレス社会） ・健康増進をポジティブに取り組む仕組み ・未来いまカラダポイントを地域で集めて活用する ・施策のレビューが反映されていない？ ・地域での活動に支援（ノウハウなど） ・事業所としてはメンタルヘルスの向上に努める ・たくさんある公園の健康遊具を使いたい
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民目線では③と④は同じでは？ ・⑤適切な受診につなげるために、市民にわかりやすくする、と変更 ・施策 10 と共有させる 	

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	？
3/36	15/36	7/36	2/36	9/36

施策12 消防・防災

平成29年1月31日(火) 18:30~20:30

於 あまがさき環境オープンカレッジ

テーマ	個人	地域	評価					
			◎	○	△	×	?	
①各家庭において食料備蓄や非常用持出袋の準備等の防災対策を行います。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○玄関に持出袋を置いている ○3日分の食料は備蓄している ○水を毎年変えている ○食料貯蔵(米、パスタ、ラーメン)2週間 ○おおむね備蓄はしている。ペットボトルの備えはしていない ○飲料水6本入り×5ケース ・燃料(ガスコンロ、プロパン) △いつか準備しようと思いつつ… △全然できなかった ・安全でないが部分的にやっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛布の備蓄ぐらいしかしていない 	1	6	1		
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○非常用持出袋を購入した ○防災用ではありませんが、水をストックしています ・水、米、クッキーなどの食料を数日分備蓄しています ・米は常備しているが、その他の食料は備蓄できていない 						
②急病人、けが人が発生したときには、応急手当や迅速な通報を行います。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○急病人119(脳出血・転倒) ○交通事故119 ○救命救急士資格取得 ○救命救命や小児救命講座を受講しました! ○救命救命訓練を受けているので対応は可能 ・通報はできる、応急はできない ・できたと思う…応急手当のやり方がわからない 	○自治会が対応している講習等	5	1			2
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅周辺の交番を確認した ○救命講習を受講しました ○AEDの研修を受けました 						
③救急車を適正に利用します。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○もちろんできた、一回も使わなかった ○乗ったことも呼んだこともなし △使ったことがない △相談Noが知られていない ・自分に何かあった時とか子どもが呼べるようにしておきたい ・数回呼んだことがある 	<ul style="list-style-type: none"> △できてないのでは…?救急車を適切な理由で呼んだ例を聞いたことはある △救急車がサイレンを鳴らしてきたときに、停まらない車が多い 		4	3		1
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○できた。家族が急病時、救急外来に受診した ・タクシー代わりに使うといったことを聞きますが、実際のところはわかりません 						
④住宅用火災警報器の設置や、防災管理体制の充実強化等火災予防に取り組みます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○火災警報をつけている(台所・寝室) ○設備はできている。予防もほぼできている ○火災警報器を設置している ○できた!事務所に火災報知器をとりつけた ○警報火災報知器設置 ○救急車を呼んだことがあります、家の2軒隣が消防署 ○警報機は取り付けている 		7				1
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○できた。住警器(住宅用火災警報器)を多数購入し親族で設置促進した ・定期点検を受けた 						
⑤地域の防災力向上のために、自主防災活動に参加・協力します。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会長としての訓練 ○夜廻り △自主防災活動に参加していない △できなかった…どこに行けば参加できるのかわからない △参加できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○火の用心(夜回り)町会 ○火の用心(年末夜警)ボーイスカウト ○地域の火災でパケツリレー ○消防団活動がみえない? 		2		5	1
	職員	<ul style="list-style-type: none"> △できなかった。活動に参加する機会がなかった 						

⑥災害時に地域の協力によって速やかに避難できるよう、普段から避難訓練等を行います。	市民	○地域ぐるみで避難訓練したいけどどうすれば？ ○自主防災会加入 △やっていない、災害のシミュレーションができていない ・訓練以外は意識程度	○さんさんタウン年1回 ○一度町内で避難訓練をしたことがある △もっと小さい地域単位でやってほしい △訓練に外出中、市外勤務中は参加できない	1	3	3	1
	職員	△できなかった、マンションにおいて避難訓練に参加できなかった	○ポートレース場が津波の避難場所に指定されていますので、年1回訓練を行っています				
⑦事業者は、防火管理体制の強化や定期的な消防訓練を行うとともに、災害発生時には地域の防災活動に協力します。	市民	△できていない	○グループホーム防災研修 ○AED研修 AOCE あまがさき環境オープンカレッジ △地域の診療所とかでもっとやればいいのに △障がい者、交通弱者が参加できない ・大企業はやっているのでは…消防訓練をしているのをFBで見た	3		1	4
	職員	△やっていない、事業者向けの避難訓練のマニュアルがほしい					

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動をどこでやっている？ ・住宅と事業所で違うことがある ・自主防災活動って？ ・「市民」と「事業者」では施策がだいぶ違うと思う ・解決案を出すことが大切だと思うので…そこに誘導してほしい。 ・具体的にどこで何をしたらいいのかわからない ・②迅速な通報、③適正利用って？ ・水平避難の言葉がわからない ・救急車の「適正」利用ってそもそも？ ・官庁用語やめろ ・参加できなくても仮想参加する仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・マップの完備 ・デジタル化 ・ビーコン（センサー）など ・GPS ・スマホの活用 ・消防署のオープン化 ・地域、企業、行政ぐるみの防災訓練イベントをしていく必要があるのでは？ ・自主防災消防団の懇親会 ・防災は取り組みたいので、市民—行政の連携を ・自主防災隊の結成と訓練 ・⑥地域、市民、企業、市みんなて訓練したい ・⑦市民には他人事っぽい ・特に避難訓練は行政もタッチしていくべき ・消防、警察不在を想定した訓練 ・避難時に手助けの必要な人を、行政、自治会共に地域で把握しておく ・高齢者、障害者等の防災避難訓練 ・防災で、普段のコミュニケーションのきっかけを作る
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・防災管理体制の強化の内容を具体的にした方がよい ・救急車の適正に利用できたかどうかは市民にはわかりにくい ・⑥訓練を行うのは無理があるのでは ・⑦の内容がわかりにくい ・災害内容によって訓練の区別が必要では 	<ul style="list-style-type: none"> ・急病人発生時の訓練もすべきでは？

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
13/56	17/56	7/56	9/56	10/56

施策13 生活安全

平成29年2月25日(土) 10:00~12:00

於 旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ	個人	地域	評価					
			◎	○	△	×	?	
①日常生活の中で一人ひとりが防犯について意識し、日常の散歩やウォーキング等を兼ねてできる見回り活動・パトロール等の防犯活動等に協力しあって、安心して暮らすことができるまちづくりに努めます	市民	○ごみ拾いをしながら町を巡る ○毎日のウォーキング、高齢者見守り活動	○防犯意識は向上している ○老人会の方の見守りパトロール ○地域自治会で夜の見回りを行っている △自分のことしか考えていない人が多い	1	3	1		
	職員	○地域の防犯パトロール ○スマホの普及→誰もがカメラを所持、SNSの活発化 ○防犯パトロールをしている ○防犯出前講座に参加した ○人に反応して点灯するライトをつけています	○夜間パトロール(武庫) ○ウォーキングパトロール隊など市民が参加しやすい ○警察と連携して啓発キャンペーン(神田クリーン作成など)に参加した ○朝、通学路で担当の方が子どもたちの見守りや声かけをしている場面をよく見た	1	7			
②一人ひとりが自転車をはじめとする交通ルールやマナーを遵守するとともに、家庭や学校、地域ぐるみの啓発・学習活動に取り組めます	市民	○当たり前のことですが、信号を守るようにしています ○交通ルールは厳守 ・信号で止まる努力をしている	△無理な横断の自転車が多い △なかなか守れない赤信号突破! △逆走多い ・学生、生徒の自転車マナーは良い。中高年のマナーが悪い、これをどうするか		1	2	2	
	職員	○交通ルールやマナー教室等、積極的に取り組んでいるように感じる ○交通安全教室に参加している ○自転車保険に加入している ○そもそもルールを知らない(道路交通法) ○自転車を使用する機会が多いので安全運転を心がけています △自転車によく乗るが、交通ルールをあまり意識できなかった △日常生活における交通安全意識の希薄さ	○自転車教室の全校実施(H28は小学校で達成!) ○自転車専用レーンを使っている人が多い △守らなアカン信号と無視してもよい信号を自分の中で決めている? △交通安全教室年間約250回実施も対象が限定的 △高齢者の事故多すぎ ・自転車事故多い!自転車関連事故マップをもっと活用してほしい		4	3	1	
③消費に関する学習・啓発の機会を活用し、さまざまな商品や商取引等についての知識や関心を持つ賢い消費者となることに努め、自ら消費者被害に遭わないよう備えるとともに、地域や環境、社会に貢献できる消費行動を心がけます	市民	○環境系NPOに参画中 △勉強不足	○なるべく地元の店を利用したいと思っている △関心少なすぎ ・消費生活についてはこれからは課題多い。行政からのPR、指導必要。すでに行われていると思うが			4	1	
	職員		○金融商品を取引するときは、かなり調べてから行うので、しっかりした知識をもって決断できていると思う ○啓発ポスターを至るところで見かける	1	4		3	
④悪質な訪問販売や金融商品等による被害を防ぐため、地域や各種団体で高齢者等に対する情報の共有や見守りを行います	市民	○自治会長として高齢者とのコミュニケーションを図る △なかなか情報がない、わからない	○母に何か変なことがあったら連絡してと言っている ・③と同じ、今後も努力目標とすべき △講座等広報不足			2	2	1
	職員			2	2	2	2	
⑤事業者は、消費者が安心して商品やサービスの提供を受けられることができるよう、法令の遵守と倫理的な事業活動、情報開示に努めます	市民	○実施	△悪質な事業者や被害のアナウンスが必要 ・できている、社会貢献部門の設置 ・総合計画の評価には事業者が加わるべき。商工会議所との協力関係で可能では?			2		3
	職員				1			7

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ①防犯に関してはかなり向上している。気は抜けないが、安全なまちになりつつある ②自転車マナーは自転車のまち尼崎の大きな課題 センサー×スマホシステム ルール守ったらポイントが貯まる ③④⑤消費者問題は今後も大きな課題、活発の仕方も 	<ul style="list-style-type: none"> 縦割り行政でなく、消費者問題と人権とを結びつけるなど、取り組みやすい課題とのコンビ 直接命にかかわらないことへの関心を高める方法 情報の共有方法、具体的でない 事業者(経営者)をメンバーに含めるべき SNSなどの正しい使い方などの表記が必要 暴力団排除
職員	<ul style="list-style-type: none"> ②家庭学校ぐるみよりも、まずは自分ができているか ③スマホのトラブルが多い もっと交通安全の項目を設けたらいかがでしょうか 高齢者の交通事故が最重要課題では? 自転車のルール、マナーについて焦点を当ててほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教育の普及(3世代) 当たり前のことを守れていない現状→地域活動への参加(当事者意識) 電子商取引に関する記述 ネットを活用して商取引するケースも増えているので、そのことに関する啓発活動は必要だと思う

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
1/25	4/25	11/25	5/25	4/25

施策14 就労支援

平成29年2月12日(日) 10:00~12:00

於 旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ	個人	地域	評価					
			◎	○	△	×	?	
① 企業等は、求める人材や働く場としての魅力について積極的に情報発信します。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○自社のホームページをリニューアルして新人スタッフの成長コンテンツを発信したので良かった △企業側からの発信が少ない △情報発信できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ○機会をつくり発信 ○HP や求人広告で PR している企業が増えてきた ○情報発信はよく聞く △人手不足のため自社の情報(優れたところ)が発信できていない △会社のPRがあまりできていないのでは ○社会見学の受け入れ、地域活動を通じて職場のPRをしている ○ハローワーク、市という複数の求人チャンネルがある ○学生との連携事業や知るカフェ等、事業者が主体的に情報発信に勤めている ○HP での情報が発信のレベルが上っているように思います(企業の) △合説でブースを構えるだけでは学生はこない。企業自ら学生にアプローチする必要がある 		2	1	1	1
	職員				2			1
② 就労希望者は、働く意欲を持って自ら積極的にスキルアップに取り組みます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○求職者が希望をまとめる ○インターンシップ生にマーケティングなどのレクチャーをした。学生のスキルアップには積極的に取り組めた 	<ul style="list-style-type: none"> ○就労意欲を考える ○職業訓練を受ける人が増えている ○高齢者でパソコンを習う人が増えている ○就労希望者は自ら行ったスキルアップに満足しているが企業が求めているものと違うことが多くあるが、そのところに対応する意欲が薄い △どこでスキルアップしているのかわからない。やっているけど… 		2	3		
	職員		<ul style="list-style-type: none"> △売り手市場の中で積極的ではないように見受けられる(特に新卒者) 	1	1		1	
③ 企業等は、就労希望者に対する研修やインターンシップに協力し、就労希望者のスキルアップを支援します。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップのイベントに積極的に取り組んだ ○インターンを何度か受け入れた事がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○インターンシップが定着してきたと感じる ○インターンシップをやりたいという声をよく聞くようになった ○人材養成は企業にとって必要不可欠 △研修の取り組み方が分からない企業があるのでは… △いわゆるニートに対する支援がまだまだ △インターンシップのより良い方法 ・会社に入りたいでなく、何をしたいか ・何をしたいかを明確に 		3	2		
	職員		<ul style="list-style-type: none"> ○新卒のインターンシップの斡旋がある ○市の事業の長期インターンシップに参加、協力してくれる企業がいる ○本市事業「しごと塾」の業務内容説明会に参加する企業がある △そもそもインターンを行っている企業が知られていない 		2			1
④ 企業等は、労働者が安心して働き続けられる環境づくりに努めます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して働ける環境づくりの本を読んだ ○介護や育児を支援する取組を行っている △間に合えば良いで採用しない 	<ul style="list-style-type: none"> ○若手の社長で環境づくりに取り組んでいる人が増えた ○建設業で外注を正社員にする取り組みが進んでいる ○人手不足の特代、より良い環境づくりを進めている 		4	1		
	職員		<ul style="list-style-type: none"> ○労基法への注目度が上がる中で、企業も今まで以上に努力していると思います △健康経営の導入。ワークライフバランスの推進。テレワーク etc. ブラック企業多し 			3		
⑤ 企業等は、経営の質を高めるため、従業員の意識啓発や人材育成研修に努めます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○できた。美容室で人材育成がブランディングなどと伝えている ○スキルアップ研修を行っている ○企業側の育成計画表示 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヘルパー等の研修が積極的に行われている ○研修等は大いに取り組んでいる △やりかたがわからないのでできていない 		2	3		
	職員		<ul style="list-style-type: none"> △ある程度大規模な企業なら研修システムあるが…。中～小規模にあった方法がわからない? △新卒を確保しても研修制度が整っていない企業もある 		1	2		

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間働いてもらえることでのメリットグラフ ・景気に影響を受けるので評価が難しい ・行政に頼らないインターンシップ。皆文句を言い過ぎ ・広報やプレスリリースの書き方が入るのでは…? ・企業—PR（ここがいる）—インターンシップ—学生 ・学生→スキルアップ→ビジョン（ここがいる） ・しつけができてないものが多い ・企業は就労希望者のニーズにもう少し対応してもいいかもしれない ・企業の法令遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みに差がある。ボトムアップする必要がある ・子供の時から色々なことに感心を持って、学び遊ぶ ・いわゆるニートに対する施策が入っていない ・短時間労働副業を認める等多様な働き方ができる取組 ・どんな社員になりたい ・労働者（市民）の取り組み項目が少ない（1つ） ・求職者したいこと目標を明確に ・尼崎をどのようにしたい ・①会社同士で協力して集めた情報を発信するシステム ・②スキルアップの前に尼崎にある仕事を知る仕組み ・インターンシップに参加することで企業が〇〇に変わるイメージを伝える ・④情報を共有できる朝イベント。ネットニュースや新聞の読み方 ・⑤尼崎のリーディングカンパニー、見学ツアー「尼の先輩経営者に聞いてみよう」 ・子育て支援の充実 ・学生への情報発信
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・就職できた人の声が入るのではないか ・③と⑤をまとめて新たな目標を作ってもいいのでは ・施策が企業によりすぎて市民目線で評価しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業同士のつながりが生まれるような取り組み ・市内企業について積極的に知ろうとする ・客観的な情報発信 ・企業評価（食ベログみたいな） ・求職者が求める企業の魅力を具体的に発信してほしい ・企業は多様な働き方を取り入れる。ex) 女性の働き方、介護等

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/25	13/25	10/25	1/25	1/25

施策15 地域経済の活性化

平成29年2月12日(日) 10:00~12:00

於 旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①事業者は、事業活動を積極的に行うとともに施設・設備の積極的な投資に努め、市内における雇用機会の拡大に努めます。	市民	○できた。雇用の拡大をした。 ○スピードはないが努力が感じられる	○できている。知り合いの会社も雇用を拡大している △工場→マンションの流れは変わっていない		1	2		2
	職員		○建築の分野で求人数が多いうように雇用機会は増えている △施設・設備の投資は後回しになり、積極的には行っていない △投資を計画していても景気に左右される→評価しづらい	1	1			1
②ものづくり産業の振興が地域経済の発展と雇用機会の創出により市民生活の向上につながることを理解するとともに、ものづくり産業の振興に協力するよう努めます。	市民	△ニュースにつなげたいものづくり △できなかった。ものづくり企業とあまり出会わない	○あんかけチャンポンなど新しい取り組みが見られる ・できつつある。アビーズの活動。他都市の施設を利用できるので		1	3		1
	職員	○市内生産品と名物を発信した。個人でもPR!	△ものづくり産業が具体的にどう市民にメリットが有るかわかりづらい		1	2		
③市民・事業者は、工業系用途地域における低未利用地や遊休地等の所有資産の事業用途への積極的な活用に努めます。	市民	△組織としてすすめれば △できなかった。お金がない…	△空き家や空き地が増えている △企業進出は大いに結構だが物流産業が多いのは… ・できつつある。カブキモノビレッジ。南部での若手社長の情熱				2	3
	職員		○パナソニックの工場が他の運送事業者に新たに活用されている △工業系→住居への転用が多い				2	1
④事業者は、地域社会の一員として社会的責任を自覚し、地域社会と調和を図りながら共生していきます	市民	○できている。尼の取引先を増やした。	○できている。お世話が大好きな、おせっかいな社長も多い		3	1		1
	職員		○施策14に繋がるがインターンなどに取り組み、開かれた企業として操業していくことが出来ている		3			
⑤事業者は、環境に配慮したもののづくりを行います。	市民	○市民意識は高い	○公害は減っている ・わからない。私の周りの社長との会社で環境というワードは出ない	1	1	1		2
	職員		○LED 灯への転換、間引き。環境に配慮した取組が目立つ ○LED。空調交換。省エネ&コストダウン ○『環境への配慮』意外とできている(過去のイメージが残っているが)	1	2			
⑥市場・商店街が食料品等の商品・サービスの提供や地域交流の場となることで日々の暮らしを支えていることを意識し、地域経済の循環を心がけます。	市民	○商店へのバックアップが必要 ○もっと大型店が増えても良いのでは	○MiA(メイドインアマガサキ)は、商店街活性化に寄与している ○市民も商品の購入を他市で行うのではなく地元でする ○できている。皆さんやっている △商店街でチェーン店が増えている		3	2		
	職員	○市内に行きつけの店を持つ	△商店街の空き店舗の活用が課題		2		1	
⑦事業者は、意欲をもって市民や地域のニーズを捉えた事業活動に努めるとともに、個々の市場・商店街の特徴を活かして地域に根差した取組を行い、地域とともに支えあう市場・商店街づくりを進めます。	市民		○独自の取り組みをしている商店街もある ・少しできた。自社の媒体でニュースをYahoo!に		1	4		
	職員		○尼ブレ商店の組合の繋がり。住民との繋がりが多い ○話題作りPRを積極的に行っている		3			

	現計画の記載について	他に取組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・③市民ができるのか ・⑥と⑦の繋がりがわかりづらい ・ものづくり、市場、商店街以外の産業にもスポットを当ててほしい。 ・地域経済の中身にギャップがある。 ・商店街のアイデアより産業のアイデアがほしい ・活性化のアイデアが少なすぎる ・施策15の会議に尼崎企業のトップに入ってもらう ・アビーズをもっと自由に使いたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり産業を毎日PRして活性化を狙う。 ・ハッカソン、アイデアソン、スペース ・空き店舗情報と企業化のマッチング ・尼崎の特徴を活かした取り組みが必要 ・人の集まりをどのように作るか。 ・集客の固まりを○でつくる ・商店(業者)行政・市民の知恵必要 ・5年前より相当進んでいる ・施策15のくくりが大きすぎて、わかりにくい
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの○が多い。絞っては? ・有効求人倍率が高い今、雇用機会の拡大がそもそも課題なのか ・環境に配慮することが当たり前になってきているのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ショッピングセンターとの差別化、商店街のメリットを伸ばすべき ・地域だけでなく外から稼ぐという考えを取り入れる

総合評価

よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
1/35	10/35	13/35	2/35	9/35

施策16 文化・交流

平成29年2月26日(日) 13:00~15:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①文化事業や地域の催しへの積極的な参加等を通して、身近なまちの魅力を再認識・発見するよう努めます	市民	○地図を描いています ・いろいろ活動しているが、固定的なメンバーで違いがなかなか難しい ・格差がある? ・まちの魅力を発見するに至らない	○寺町など趣のある風景もある ○商店街や町のお店による活性化チーム ○おまつり、盆踊り、地域の集まりに参加している △公園の活用、マルシェなどもっとあれば △地図を描いていない ・イベント等は多く実施されているが、関心を持つ人は多いのか?		4	1		
	職員	○イベントや催しにできる限り参加する	○面白い活動をしている人がそれぞれに情報発信(神社・お寺・まちづくり団体など) ○100周年で市だけでなく、団体・企業を。多くのイベント実施 ○尼崎ENGAWA化計画、ビブリオバトル ○あまらぶアトラボで市内業者と事業を実施 △宣伝がヘタかも △祭り等が地域で偏りがある	2	3	1	1	
②一人ひとりがプロモーション役として、わがまちの魅力を伝えるよう努めます	市民	○音楽活動で多方面の方々に尼崎をPR ○そのように努力している △自分自身が知らないので伝えられない	○大庄公民館の建物ガイドがいる △競艇場が汚い! △市民ひとりひとりにその意識があるか? ・やっている人が共有できている? ・地域の役員が行う?		3	2		
	職員	○尼ノ國サイト会誌	○facebook、instagramをはじめた ○尼ノ國のサイト開設(定住転入促進サイト) ○お笑い行政講座 △歴史的背景から伝えていきたい △SNSであまり尼崎のことを書いていない		5	2		
③さまざまな活動を行うに当たっては、まちの魅力アップや活性化を意識します	市民	△ピンとくるような物がないような… △まちの魅力アップを考えたことがなかった	○若い世代も巻き込んで活力アップを図る ・何が魅力なのかコンセンサスが必要ではないか?			3	1	1
	職員		△尼らしいイベントって難しい			5	1	1
④事業者は尼崎ならではの魅力を備えた商品やサービスの提供に努めるとともに、これらの積極的な情報発信を行います	市民		○地域の催しに参画している △メイドイン尼崎の雑誌があったような △企業の協力がもう一步のように思う			4		1
	職員	○チャンポンクラシック ○ガサキング △尼崎土産にちょっと困る △尼崎にかつてあったたくさんのお菓子、酒など何か復活できないか	○100周年の時はいろいろな商品を作ってくれた ○観光交流ガイド「あまらぶ」での発信		3	4		
⑤国際交流の機会を活用します(姉妹都市、友好都市の相互訪問や留学生・訪問団のホームステイ受入等)	市民	△あまり聞かない ・ホームステイはたくさん受け入れてきたが、まちの魅力アップに関連づけたことはなかった	△近場でどこが姉妹都市なのかわからない △聞いたことはない △wifiが少ない ホテルから出ない⇔ホテル・コンビニ程度 △姉妹都市との交流が全体に共有されていない			4		1
	職員	○阪神電鉄さんがインバウンドの何かやっていたはず ○尼崎えびす神社、園田学園女子大学つながりプロジェクト、姉妹都市交流 ○巫女体験に台湾から観光客が殺到!	○外国語が苦手、あまり関わりを持っていない			7		

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・①②③④⑤尼崎城の内容 ・①人気は年度単位ではない ・②一人ひとりがプロモーション役をするのは理想（お笑いの街にふさわしい）だが、どこまで浸透？ ・②プロモーション役のコネクト、高校生や中学生も参加（学校の活用） ・②良いニュース＞悪いニュース ・②「おもしろい」と感じてもらいたい ・魅力をみんなで探す ・「あまがさき再発見」事業 ・意識の問題、意識付け、意義づけ必要 ポスターなど → 「あまがさき」 ・③企画物の持続性は必要（定着させたい） ・⑤姉妹都市との交流をもっとPRすべきでは（他の国際交流の例も） ・⑤国内でもつくってほしい 例・尼が咲く 	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも「尼崎」のイメージをどうしたいのかわからない
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・①一市民としてさまざまな催しに参加していく ・①尼崎城についての内容 ・①コンテンツは常に化する。行政とよく意思疎通を例・忍たま、工場夜景 ・②尼崎の外に住んでいる人の方が尼崎を面白がっている気がします。市民に対して市外からのプロモーションが必要？ 『よそ者効果』 ・②『プロモーション役』まではステップが高い？ ・②みんながプロモーターの意識付け ・③「さまざまな活動」の具体性を明確にする ・まちの魅力は中にずっといるとわかりにくいのかなと感じた。もっと他者からの視点を取り入れるきっかけづくりができれば… ・④インバウンドが多くなってきており、企業・商店も海外対応が必要 ・まちの魅力を伝える役割を担う個人のメリット？ ・そもそも尼崎好きやな～と思ってもらえかけ ・⑤話せなくても参加できるイベントがあれば ・⑤時代は変わっているので今だからという内容にシフトすべき ・⑤外国人の受け入れ体制の整備を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・④キラーコンテンツがこれまでなかったが「城」がそうなるか

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/25	7/25	14/25	2/25	2/25

施策17 地域の歴史

平成29年2月26日(日) 13:00~15:00

於 小田公民館(学習室2・3)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①埋蔵文化財の保全や地域の歴史に関する調査に協力します	市民	△情報が行き渡らない △無関心でした	△地域での動きがわかりません ・説明案内のある神社とない神社がある		1	3		
	職員	○遺跡を保護しつつ、市民の住宅が建築できるようにしている △家を建てる時しか関われない △保全・調査に関わることがない	○史料館ボランティア(史料整理など)	1	1	2		
②地域ぐるみで史跡・文化財を守るとともに、観光資源として活用していきます	市民	△交通の便や動線を考えた環境づくりが少ない △全くしていません	○駅に史跡案内がある △全く情報なし ・地域の人々が自分たちの周囲の歴史的価値を理解していない?			4		
	職員		○寺町ボランティア、まちの案内 △尼崎は史跡観光地と思われがち… △シティプロと連携しているのでしょうか			4		
③積極的に地域の歴史や文化財に触れる催しに参加します	市民	△ゲストやメディアを活用してもらいたい △無関心でした	△催し自体あるのかどうか… ・種々のイベントは行われているが、参加する人が固定的。もっと多くの人の参加があれば			4		
	職員	○大晦日に寺町へ(年1回) ○本物の資料に触れる △文化財・地域 研究→南端、田能→北端と行きにくい △他のイベントと比べて少し難しそう→あまり参加していないかも…			1	3		
④地域の歴史に関心を持ち、数多くの史跡・文化財に触れる機会を通して、理解と愛着を深めます	市民	○一年通じての楽しみ方を知っている(田能遺跡) △理解できても愛着を感じるかどうか	△ストーリー性のPRがほしい △歴史は古いのに古い感じがしない △地域の歴史とは?			4		
	職員	○富松まちづくり ○ふすまの下張り文書をボランティアの方とはがしています ○市政出前講座			4			
⑤特に将来を担う子どもたちに地域の歴史等の魅力をしっかりと伝えていきます	市民	△先に自分が勉強しなければ…	○学校では「わた尼」で勉強しているのでしょうか ○園和小の遺跡 ○学校とのタイアップが必要、しかし授業には組み込みにくい		4			
	職員	○新尼崎市史、ダイジェスト版 ○子供向け講座メニュー準備中、地域の歴史 ○100年の歴史DVD ○歴史教育として尼崎の歴史を伝えている △歴史が苦手、あまり伝えられていない	○あまらぶ歴史体験学習事業をやっている	1	3			

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ①知っている世代へのアプローチの仕方 ②観光資源としてまだ意識されていない→これから意識してもらう 大きなメディアにPRをして協力してもらったら 歴史に対する興味を持ってもらうためには? 事業所と連携してPRDVDを流してもらう 情報発信の視点がいるのでは ④⑤学校とのタイアップの必要性 歴史とは暗記でないことを教員が生徒に伝えるべき、新市史の考え方 さまざまな行政の取組を情報発信していけばいいのに(伝わっていない) 富松城も建てては?目立つ立地なので 改めて配布用マップを作成しては 情報発信で3月21日(木)にプレをする。尼ノ國サイトを利用する 	
職員	<ul style="list-style-type: none"> ①文化(民俗)を守り伝えたいという思いをもつ世代と若い世代の落差がある(田能のししまい) 歴史をもっと身近に ③情報の入手方法、地域格差? ③歴史が好きな人とそうでない人の差が大きい、初心者参加しやすいものを ③④の違いがわからない 	

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/20	5/20	15/20	0/20	0/20

施策18 環境保全・創造

平成29年2月12日(日) 10:00~12:00

於 旧聖トマス大学(学生会館)

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
① 地球温暖化の防止や循環型社会の形成等について学び、自ら行動します	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○石油ストーブの廃止 ○できている。ポプさんの活動を応援している △燃やす資源をなくす ○環境オープンカレッジの講座に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○テレビなどで学んでいる ○できている。オープンカレッジ △しかし、行動できていない 	3	1	1		
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○学校で「環境」に関する講義が増え、学ぶ機会が増えている ○学校で学んでいます △タバコのポイ捨てへの意識啓発が課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○AOCE(尼崎環境オープンカレッジ)を中心に多数の啓発講座 	1	2			
② ごみの発生・排出の抑制に努め、排出されるものについては再資源化やエネルギーの有効活用のために、分別の徹底に取り組みます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○服リサイクルしています、母→娘 ○ゴミの収集の形態が変わり、更に分別して出しやすくなった。 ○ゴミの分別はできている ○分別の習慣徹底 ○できている。ゴミを丁寧に分別している △過剰なラッピング ・エコバッグが定着してきた ・エコバッグ持参をよく見かける 	<ul style="list-style-type: none"> △惣菜のパックゴミが多い 	2	3			
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴミの重量を測り減量に努めています ○どこに行っても分別の取り組みが徹底されている 	<ul style="list-style-type: none"> ○各家庭や職場での分別が定着している ○スーパーなどでの白色トレイなどの店頭回収をよく見るようになった ○消耗品の詰め替え用が定着している ○収集を二回にした結果、ゴミ量は減っている ・紙資源回収によるリサイクルの推進 	2	1			
③ 省資源・省エネルギーの取組や自然エネルギーの利用、壁面緑化や屋上緑化等によるヒートアイランドの抑制など、低炭素型まちづくりに向けた取組を進めます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○ソーラーの利用 ・緑が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ○夏一壁面緑化を行っている ○できている。ヤンマーなどの大企業の取り組みなど 	3	2			
	職員		<ul style="list-style-type: none"> ○屋上の太陽光発電に取り組む事業者が増えた ○市内の各所で壁面緑化が見られる ○大規模な工場は緑化の義務があります ○スマコミの実施 ○工場に対し、尼崎独自の緑化を勧めています 		1	1		1
④ エコドライブ運転や環境に配慮した物品の購入など、環境に配慮した生活スタイルを心がけます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○EVの使用 	<ul style="list-style-type: none"> ○アイドリングストップ車を使っている ○企業(スーパー)がトレイの回収をしている ○企業がエコカーを使用している △燃費の悪い車に乗っている 	2	3			
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○エコドライブ運転を意識している ○自転車政策やカーシェアの拡大、生活スタイルの文化を実感できる ○エコバッグ、マイ水筒の使用 △自転車のマナーアップまだまだ大事です 	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車の町です ○エコ商品、詰替え商品の普及、認知が進んでいる 	1	2			
⑤ 身近な自然や生き物を大切にすのほか、自然観察や環境保全活動の参加等を通して、生物多様性の保全に取り組みます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・農園の活用 ・できた。近所の鳥の糞にも生き物を大切にする心で励ましてあげる 	<ul style="list-style-type: none"> ○21世紀の森は環境に寄与している ・犬を大切にしている 	3	2			
	職員		<ul style="list-style-type: none"> ○21世紀の森イベント。尼崎らしい面白い物があります ○ピオトープ etc. 環境学習に前向きな学校がある ○市内で多数の自然観察会が実施されている ○21森、猪名川自然林を中心とした市民、地域の取り組み 	1	2			

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ出しのマナー（一部）。特に年末年始が悪い。 ・ 施策 18 が一番出来ている施策だと思った。 ・ 学生が参加できる環境保全の施策があっても良い ・ 法整備による部分と市民の自主的な取り組みを評価するのが難しい ・ 課題→そのためには何（←アイデア）→ゴール ・ 大人・事業者・学生→施策。それぞれの計画がある ・ 公園にある「木」検索できるシステム。知ってもらってファンを作る ・ 逆クールビズ「湯たんぼ」「チャンポン」「日本酒」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体に環境意識の向上に努めている ・ ゴミをカラスの散らかしているのが問題 ・ 川へのゴミ投棄が多い ・ 生ゴミの水分を減らすことがアナウンスできていない ・ コストバランスを考える ・ 尼崎独自の取り組みが合ったほうが良かった ・ 公害については、どこに表記？ ・ 公共交通機関の利用促進 ・ 生活スタイル？
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ マンション入居者への啓発が課題。尼崎市のルールになれていない ・ 一人ひとりの環境への意識が高まっている ・ 熱心な市民は一生懸命取り組んでいる ・ 市民の自発的な取り組みが進んでいる ・ 達成出来ている項目が多い→これからどう進めるのか考える必要がある ・ ①の中に②～⑤が全て含まれているのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の市民だけでなく市全体に広げていく必要がある ・ ③に取り組む施策が⑤に関するスポットの見学等、市民がもっと知るための取り組み

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
13/25	11/25	1/25	0/25	0/25

施策19 住環境

平成29年1月31日(火) 18:30~20:30

於 あまがさき環境オープンカレッジ

テーマ		個人	地域	評価				
				◎	○	△	×	?
①景観や近隣との調和に配慮したまちなみの形成に努めます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○洗濯物をベランダに干さない ○おしゃれな家を建てたい ○よくできた ○気になる案件で意識は持っている ○お寺でイベントをしてみた ○ゴミ拾いやっています ・個人ではできていません 	<ul style="list-style-type: none"> △空き店舗が増えている △あまりできていない、業者がそもそも協力しているのか △空き家が増えている △ボートレース場は汚い、臭い、利用したくない △近隣との関わりが希薄なので配慮しない ・塚口駅北側に高いビルがある 		1	7	1	1
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○看板の色などを配慮した ○住宅の外装材の色彩に配慮 ○自分の植栽の手入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ○近隣の公園でイルミネーションが設置されていた ○ボート場周りの清掃を行っています(舟場のポイ捨てが多いため) 					
②都市景観に関心を持つとともに、緑化等の身近な住環境の向上のためにできることに取り組みます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○緑を育てている ○敷地の3割を緑化している ○よくできた ○amare作った ○カブキモノ集落作った ○地域でお花のグループをつくりました! △残したい風景は残したい △都市計画を考えたことがありません △マンションなので… △関心はあるが、具体的行為はない ・近所で鳥にエサをやっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○フラグダー ○尼にはゴミ屋敷が少ない △主不在の空き家、火事+犯罪の素 △あまりできていない、緑化については行政の強力な指導が必要? ・阪神尼崎周辺は緑と建物がマッチしている 	1	4	4		1
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○まちかどチャタリング賞へ応募した ○ベランダ、庭に緑を置いた ○観葉植物の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○花やみどりを増やす(植える)活動 ○公園の清掃活動 					
③地域の特性に応じた地区計画等によるまちづくり、地域にある施設の維持管理や利用方法のルールづくり等に取り組みます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○公民館で新しい取り組み △ハードとソフトを仕掛けちゃダメ △わかりません △あまりできていない、デベロッパーと住民との関係 △地域の施設老朽化、建て替え× △地区計画に参画できるルールない! △朽ち果てた家をちよくちよく見かける ・市民がまちなみ全体にどうやって関心を持つか ・取り組みたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のまちづくり協議会では頑張っているように思うが △建て替え計画不透明 △寺町周辺の高さ制限を設けるべき △町並みに心を配る余裕がない △情報不足 △ルールは法律? 条例? 不文律? 暗黙? 			6	2	2
	職員							
④さまざまな年代・立場の人に適した住環境の形成を図るため、ライフステージに応じた良質な住宅の供給や住まいに関する情報の共有に努めます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> △業者や行政任せになっている △住環境はルールが必要 △あまりできていない、住民の経済力の限界 △考えたこともない 	<ul style="list-style-type: none"> △情報の共有はなかなかできていない △市外圏外の方の観点がない △一時滞在、長期滞在の観点、非住居者 △情報を供給しても、そもそも良い建物が少ない △気づかない程普通 ・区域のルール化 				7	3
	職員							
⑤各種制度の活用や条例・規則を遵守することにより、住環境の質の向上を図ります。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○条例を守った家を建てた ○建築確認の厳正化 △個人が守ってもデベロッパーが理解しない時は? △制度を知らない △どんな条例があるのか知らない △制度の活用? △「住環境」に馴染みがない △各種って何? △条例や規則がそもそも分からない 	<ul style="list-style-type: none"> ○不法駐輪の敏速な移動、撤収 ○空き家の有効活用 △定住しないことが決まっている人は地域に関心ない △条例、規則についての情報が伝わっていないのではないか ・住み続ければ住民税割引、10年単位 		1	1	4	4
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴミの分別 ○長期優良住宅制度の活用 						

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・調和という言葉が抽象的なので、具体的に「これはOK」「これはNG」と教える ・建設ルールは厳守 ・具体的にどんな情報の共有？ ・事業所のモラルも明確に ・住む人ができることを具体的に ・質の向上とは…？他都市を例にするなど… ・④市民としてやるべきことがわからない ・条例と自分がつながらない ・都市計画が住民に見えない ・「住環境」の言葉の射程は？ ・「住環境」って… ・本当に「市民」に向けているのか ・わかりやすいことば ・漢字が多い！ ・ハードとソフトが切り分けられすぎている？ ・ハードな環境ではなくソフトな… ・壁面緑化継続 ・さまざまな人のいるところに行く ・マナーよりマナー ・高層マンション規制 ・市民がゴミ拾いを行っていることを周知すべき ・ポートルース場を綺麗にする ・人が咲けば→まちが咲く ・公園遊具の塗装催ししたい ・住環境ではなく、まちなみ景観ならわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい設問、まちづくりの方向性に住民の意見が活かされたか ・緑化するとどうなるのか、あなたにとって〇〇ですというゴールを見せて行動させる ・不動産屋に対して、市民が選んだベスト〇〇賞を出す ・市民がゴミ拾いを行っているが市民ができない部分をもっとフォロー ・人とのつながりをもっと組み込めば… ・取り組んだ場所の例示、取り組まない場所の例示 ・項目をもう少し分けた方がわかる？ ・評価基準の作成 ・トングマンの醸成 ・そもそもつくりたい景観の議論を ・「どんな風な景観」を望んでいるのか
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家に関する文言がない ・ルール化が追いついていない ・事業者に対するものが多い ・言葉が難しい ・個人だけで取り組むのは限界あり ・ゴミ拾いや無断駐輪などのマナーを守るしかできない気がします ・景観に興味を持つためにはそもそもまちがきれいでないと意識できないと思います 	

総合評価				
よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
1/50	6/50	18/50	14/50	11/50

施策20 都市基盤

平成29年1月31日(火) 18:30~20:30

於 あまがさき環境オープンカレッジ

テーマ	個人	地域	評価					
			◎	○	△	×	?	
①道路や側溝の簡易な清掃など、身近な都市基盤の維持管理に努めます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○雨水タンクをつけている ○町内会の活性化 ○道路に落ちていたダンボールを拾ってゴミ箱に入れました。スケールが小さいです… ○ゴミ拾いしています ○側溝の改善 ○町内のゴミ拾いを行っています ○何度かゴミ拾いしています ○側溝すげー！ △吸い殻多すぎ！ △知識不足 △道路のグラグラが直っていない、危ない △企業などの協力が差がある？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○放置自転車減少 ○放置自転車が減った ○依然に比べて都市基盤の整備は進んでいると思う ○地域を活用 △溝掃除の参加者が減っている △さんさん地下道の雨漏り △都市基盤の公開、皆が見られるように △取り組んだ場合の例示、取り組まない場合の例示 △庄下川の川底のごみ収集頻度を上げるべき △側溝と灰皿を間違えている 		8	2		
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○塗装のグラつきやめくれを発見すれば補修した ○駅前の放置自転車対策に従事した ○台風の前には側溝の水が溢れないよう清掃した ○帰り道に壊れているところがないか見て帰っています 	<ul style="list-style-type: none"> ○職場で定期的に周辺清掃を行っている △施設の劣化 					
②地域住民が主体となったコミュニティを形成し、まちづくりのルールを自ら定め共有することで、災害に強いまちづくりに努めます。	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車駐輪マナーUP ○近所のゴミ拾い ○洪水などに対する対策は進んでいる、洪水減 ○道路の白線が薄い ○無縁社会の解消に努めています △マンションの住民の人と仲良くなれていない △コミュニティづくりに企業が加わっているのか？住民だけで作るもの △「時間が無いです」という理由で、コミュニティから逃げておりました… △駐輪の問題 △自転車運転マナーが悪化 ・カブキモノな仲間たち 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴミ置き場ルール、町会長が改良 ○トンガマン仲間が増えた ○自転車の共有化、レンタル変更 △コミュニティづくりが遅れている(自治会がないところもある) △横断歩道で止まらない △地域住民が主体となる権現が不明、公園の塗装すらない △不法駐輪の早期撤収の条例をつくる △カラスやハトに餌をやる人 ・傾奇者を許容せよ！ 			9	1	
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○交通マナーを守ります(左側通行など) 						

	現計画の記載について	他に取り組んでいくべき事項
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に清掃などした場合に、窃盗団と間違われぬような腕章がほしい ・まちづくりのルールを決めると、なぜ強いまちになるのかのストーリーをつくる ・都市基盤の目標？、駐輪場の増加、自転車マナー ・自転車についての目標を！ ・②は2つの要素から成り立っているので分ける(コミュニティづくり、災害に強い) ・災害に強いまちイメージ ・②参考になるモデルがあればわかりやすい ・老朽化を事前予想する ・雨量と排水量から詰まっている側溝を算出 ・「災害に強いまち」ってそもそも？ ・災害に強くなるためのコミュニティ？ ・子どものころに比べたら、自転車放置が減少したと思いますが、まだまだ必要ですか ・具体的にどの地区に安全性、利便性がないのかわかりません ・権現移譲 ・都市基盤ってみんなわかるもの…？ ・まちづくりのルールとは？ ・災害に強いまちとは？ハード(金!?)ソフト 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政任せではなく、自分たちにもできることもあると啓蒙する ・都市基盤の維持は個人の努力？コミュニティの仕事？ ・ガタ口隊 ・側溝の大切さを説く ・側溝アプリ ・側溝と速攻 ・ソッコアの町、尼崎
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面については優先順位をつけるのが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるものから興味を持っている

総合評価

よくできたこと	できたこと	あまりできなかったこと	できなかったこと	わからない
◎	○	△	×	?
0/20	8/20	11/20	1/20	0/20

